

## ティーチング・ステートメント

所属 北海道科学大学

未来デザイン学部

メディアデザイン学科

名前 成田大祐

作成日 2023年3月22日

### 【責任】

未来デザイン学部メディアデザイン学科に所属し、主に情報科学系の科目(情報システム I, 情報ネットワーク, プロジェクト演習 II, メディアデザイン演習 IV)の担当補助, 及びゼミ生の研究指導を担当している。来年度からはフレッシュマンセミナー及び3DCGアドバンス II 内にて新規コースとして3D CADを受け持つ。

### 【理念】

学生が社会人としてしっかりと働いていけるようになって欲しい。特に本学科卒業生の大半が就職するIT系及びクリエイター系の業界で活躍する社会人として、大切な事を身に付けてもらうことを第一と考えている。現在のIT業界は新しい技術が次々に登場している、その中で常に新技術を勉強する事、自分で考えて行動する事、さらに一緒に仕事をする仲間やお客様とのコミュニケーションが今まで以上に大切になってきている。

そのような中でIT系の技術だけではなく社会生活を送るうえで必要となる知識・理解力, 汎用的技能, 態度・志向性, 創造的思考力の習得を目標に人材を育成したいと思う。

### 【方針・方法】

上記の理念を実現するために、まだメディアデザイン学科に転籍してから直接授業を受け持っていないため、前職である短大部自動車工学科で行った方法を記述する。自動車工学に関する総合的な知識・技術を基盤として、生涯学び続けるための能力・態度を備え、安全・快適な自動車社会の実現、地域社会に貢献できる次のような技術者を養成するという方針で活動している

「遅刻しない, 居眠りしない, 必要なものを持参する等の決められたルールを守ることができる」

・授業開始, 終了時間を厳守している, 遅刻した場合はその時間を補講とし, その日のうちに対処をするようにしている

・居眠りはできるだけ, 声をかけるようにしている

・毎回必ず教科書を使用し, またこちらで作成した「講義ノート」を配布し, 筆記用具を使用して記入させ, 回収しチェックしている

「少しでもよいので、毎回必ず何かを覚えてもらうことで日々学ぶことを身に付ける」

- ・ 授業開始時に本日、行う内容と身に付けることを説明している
- ・ 今期(前期)、遠隔授業時は最後にMoodle上で小テストを行い、その点数を成績に反映した  
「聞くだけの一方通行ではなく、自分で解答も含めて考えてもらい、何かしらの達成感を持ってもらう」

- ・ 所々、大切な部分は毎回考える時間を与えている

「考えた結果を積極的に声に出させることで自分の考えを発信できる」

- ・ 間違っても良いので積極的に発言する機会を与えて評価をしている

「授業のどの部分でも良いので、興味を持ってもらう」

- ・ トラブル発生動画等を多用して、できるだけ理解しやすくしている
- ・ 授業の合間に、授業には関係するが試験には出ない興味を惹きそうな話題等を「豆知識」として紹介している

「整備士合格率を上げる」

- ・ 日頃から、整備士試験を意識させるため、毎日の講義を真面目に受講する事が合格につながる話をしている

- ・ 各自、好きな時にスマホで学習できる「Webトレーニング」(成績管理も可)を導入した
- ・ 就職先の企業と連携を取り、整備士試験前に壮行会を開いたり、学生本人にまめに連絡を取ってもらっている

【評価・成果】

- ・ ここ数年、一見して居眠りをする学生は減っている
- ・ クラスによりばらつきはあるが、多少なりとも発表者は増えている
- ・ 授業後の休み時間に豆知識等を含めた質問が増えている
- ・ 整備士を養成する職に付いているOBが、「もう一度、私の授業を聴いて参考にしたい」とのことで来学した

【目標】

- ・ 自動車工学科で行ってきたことを応用して、本学科ではあまり人気の無いIT系の授業をなるべく興味をもたせるような、仕掛けを用意したい
- ・ 新規授業である3D CADに3Dプリンタを使用して今まで本学科には無かった“工学的なモノづくり”の楽しさを伝えたい
- ・ 卒業研究は“コピペ”の要素の無い必ず自分で考えた新しい視点や手法を取り入れたものにする
- ・ 長期的にはIT系(特にITパスポート)の資格取得者を増やす